

目次

□巻頭言 港湾建設技術の今後の方向	森平倫生	/1
味噌川ダムの施工計画	和田浩伸	/3
根入れ式鋼板セル工法による護岸工事	後藤雅利 城江行彦	/9
豪雪による工事用骨材製造設備 の被害とその対策	葛谷昭三 橋本和己	/15
一般道路を利用した 大量長距離運搬の公害対策と実績	小寺修 森藤井二明	/20

グラビヤ—日本海中部地震秋田港被災状況

日本海中部地震の秋田港被災状況	井福周介	/25
捨石ならし機海中実験工事	梶村格太郎 近藤敏夫	/32
超高圧水ジェット併用カッタ によるモルタルの掘削実験	中島忠男	/38
□随想 教育とロマン	細畑正治	/42
シンガポール OUB ビルディング 基礎工事の機械設備	吉井秀雄	/44
地震時地盤の液化化対策としての 砕石ドレーン工法の開発	大野義郎 島岡久壽清 岡田廉太郎	/48
大水深海洋構造物“マルチセル工法”の開発	神崎正	/54
大孔径油圧回転打撃式クローラドリル 三菱 MCD 15 G の開発	飯島克彦	/59
ゴム製タイヤチェーンの試験報告	寺田章次 鈴木英雄 蝦名利登佐	/63
低騒音型・低振動型建設機械指定要領の取扱い	中村靖雄	/68
□新機種ニュース	調査部会	/71

□文献調査

薬液注入によるアンダーピニング/基礎の破壊事例 /建設工事の概算見積法	文献調査委員会	/76
--	---------	-----

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移	調査部会	/79
-----------------------------	------	-----

行事一覧	/80
------	-----

編集後記	(中園・岩井)/82
------	------------

●本州四国連絡橋児島・坂出ルート建設工事見学会を実施(建設業部会)	/53
-----------------------------------	-----

◀表紙写真説明▶

カトウ HD-1220 SE
全油圧式ショベル
株式会社 加藤製作所

最近は工事規模の拡大と多用途化が進み、工期の短縮などによる生産性の向上、施工単価の低減が指向されているが、本機はこれらに対応して製作された油圧式ショベルである。

本機は、このクラス最大級の掘削力と大きな作業範囲を実現、操作性にすぐれた独自のダイレクトコントロール方式を採用、また燃費効率が高い可変ポンプ、全馬力制御システムなどの先進技術で設計し、さらに低燃費、低騒音、居住性の良さを加味した経済性、操作性を重視した油圧式ショベルである。

◀本機の主な仕様▶

バケット容量	0.6~1.4 m ³ (標準 1.2 m ³)
最大掘削深さ	7,000 mm
垂直掘削深さ	6,190 mm
最大掘削半径	10,500 mm
エンジン出力	170 PS/1,900 rpm
全装備重量	27,000 kg